



わだつみ



久留米市立荘島小学校

校長

卒業を前にして・・・

3月。卒業。このことは毎年繰り返されます。

いよいよ6年生は中学校に進学します。今子ども達は児童期から青年期への移行という大切な時期にあります。この時期は、心理的・精神的に不安定な時期でもあります。人生100年に向かって自立の基礎づくりとして重要な位置を占めています。充実した中学校生活を送ってくれることを願っています。



先日「人は人なか、木は木なか」という言葉を目にしました。「樹齢何千年の屋久杉も、針葉樹、広葉樹混合の木の中で、適当な温度、湿度、防風等自然の調和の中で育つ。周りが切り倒されると四囲のハーモニーが破壊され、一本立ち、二本立ちの木はやがて枯れていく。」とのことでした。木は木の中であってこそ生き育つのです。人もまた然りですね。

人生は出会いと別れを常に繰り返します。母親のおなかからの分離による誕生の後、様々な人と出会い、支えによって人は成長していきます。卒業に際し新しい夢と希望に燃えているその気持ちを大切に、創意工夫、努力によって苦難を乗り越えて生きていってほしいと思います。

ご卒業なさる6年生の保護者の皆様、長年の本校に対するご厚情、ご協力誠にありがとうございました。全職員とともに心から感謝申し上げます。

さあ、明日はいよいよ卒業証書授与式です！

最後の学年末懇談会

保護者の皆様にとって、今年度はどんな一年だったでしょうか。コロナ禍により、参観や行事が思うように実施できず、不安や緊張が払拭されないまま、一年の終わりを迎えようとしているのではないのでしょうか。そのような状況の中、



今年度最後の学年末懇談会を3月3日（金）に実施しました。担任からは子ども達の一年間の頑張りを中心にお話しさせていただきました。

最後になりますが、本年度一年間役員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。4月から、新体制のもと活動が始まります。会員の皆様には、子ども達の為に今後も引き続きご協力と参加をお願いします。

お別れ集会～振り返り、そして前へ～

3月3日（金）6年生と過ごした日々を振り返り、6年生に感謝の気持ちを伝える「お別れ集会」が開かれました。

この1年間リーダーシップを発揮してきた6年生に感謝の気持ちを届ける最後の機会です。各学年の呼びかけには、これまでお世話になった6年生に向けてたくさんの感謝の気持ちが込められており、別れが近づいてきていることを実感しました。

荘島小のよきリーダーとして、下級生を引っ張ってくれた6年生。6年生としても伝えたい思いがたくさんあります。下級生に向けて、自分たちが頑張ってきたこと、そして下級生に頑張してほしいことを話してくれました。呼びかけを聞きながらこの1年間が思い出され、私たち職員もじんと心にしみました。

